

平成25年産 春野菜の需給・価格の実績

<概要>

1. 気象

- ・3月から5月までは、平均気温が東日本と西日本で高かった。一方、北日本では低かった。なお、東京及び横浜で平均気温の高い方からの一位を更新した。また、降水量は西日本でかなり少なく、東日本で少なく、日照時間は東日本と西日本でかなり多かった。一方、北日本日本海側では降水量が多く、日照時間がかなり少なかった。
- ・6月は、暖かい高気圧に覆われ平均気温は全国的に高く、北・東日本日本海側の日照時間はかなり多かった。なお、月後半は、梅雨前線の影響により、東日本以西で降水量が平年を上回った。

2. 生産・供給

- ・春キャベツは、4月は、神奈川産の生育が順調で入荷が増加し、5月下旬以降は、降雨の影響から千葉産の入荷が減少した。
- ・春だいこんは、青森産の生育の遅れがあったものの、千葉産の入荷が順調であったことから、平年並みとなった。
- ・たまねぎは、北海道産及び佐賀産の入荷が順調であった。
- ・春夏にんじんは、千葉産及び徳島産の入荷が順調であった。
- ・春はくさいは、4月は、茨城産及び兵庫産の入荷が順調であったが、5月以降は、低温や少雨の影響から茨城産及び長野産の入荷が減少した。
- ・春レタスは、茨城産及び長野産の入荷が順調であった。

3. 需要・価格

- ・春キャベツは、4月及び5月は、前年を下回る価格で推移し、6月は、入荷量が大幅に減少したため、前年を上回った。
- ・春だいこんは、需要が減少傾向にある中で、千葉産が順調な出荷となり、おおむね前年を下回る価格で推移した。
- ・たまねぎは、北海道産及び佐賀産が潤沢であったため、前年を下回る価格で推移した。
- ・春夏にんじんは、千葉産及び徳島産が順調な出荷となったため、前年を下回る価格で推移した。
- ・春はくさいは、4月及び5月は、前年を下回る価格で推移し、6月は、前年を上回った。
- ・春レタスは、茨城産及び長野産が順調な出荷となったため、前年を下回る価格で推移した。

1. 平成25年産春キャベツの需給・価格の実績

	前回の委員会(25.3.19)での見通し	実績(7月上旬時点)	備考
春キャベツ (4～6月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作付面積は、千葉、神奈川、愛知ともに前年並みの見込み。 ・ 生育状況は、低温の影響により生育の遅れやバラツキが見られたが、3月に入り回復傾向となり、作柄良好。 ・ 出荷量は、4月は前年を上回り、5月及び6月は前年を下回る見込み。 ・ 4月の出荷が潤沢と見込まれることから、価格は、4月及び5月は前年を下回り、6月は前年並みの見込み。 ・ 加工・業務用においては、寒玉系が少ない時期となることから、輸入ものや冷蔵ものでの対応が多くなる見込み。 	<p>(入荷量)</p> <p>4月は、神奈川産及び愛知産の生育が順調となり、特に神奈川産が順調な入荷となったため、前年に比べかなりの入荷増となった。5月は、神奈川産の入荷が順調に推移したものの、千葉産は、5月下旬以降、降雨の影響から入荷が減少したため、前年に比べかなり入荷減となった。6月も引き続き千葉産の入荷が減少し、前年に比べ大幅な入荷減となった。</p> <p>期間全体としては、前年をやや下回り、平年をわずかに上回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比: 96)</p> <p>(価格)</p> <p>4月は、入荷が多かったため、前年を大幅に下回った。5月は、千葉産が降雨の影響から傷みが発生したこともあり前年が高値であったため、前年を大幅に下回った。6月は、入荷が減少したため、前年を大幅に上回った。</p> <p>期間全体としては、前年及び平年ともにかなり下回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比: 89)</p>	

注)「実績」については、「東京都および大阪府中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

(参考1) 平成25年産春キャベツの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

入荷量対比

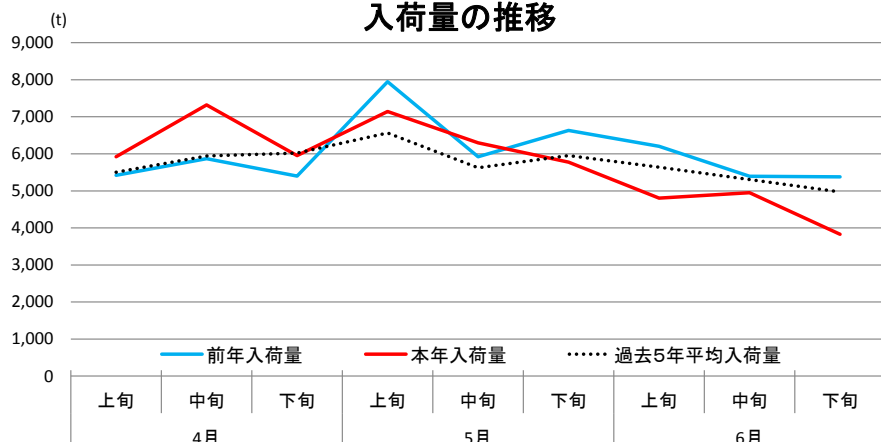
	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	109	125	110	90	106	87	77	92	71	96
	115			94			80			
過去5年平均比	108	123	99	109	112	97	85	93	77	101
	110			106			85			

卸売価格対比

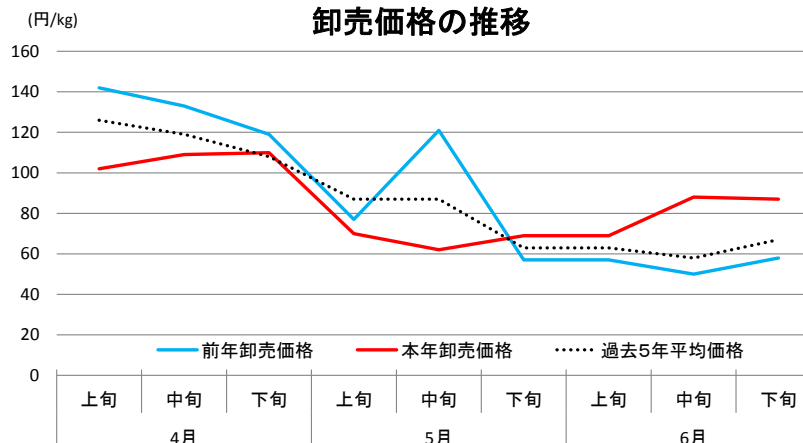
	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	72	82	92	91	51	121	121	176	150	89
	82			65			147			
過去5年平均比	81	92	102	80	71	110	110	152	130	94
	91			73			131			

(参考2) 平成25年産春キャベツの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)

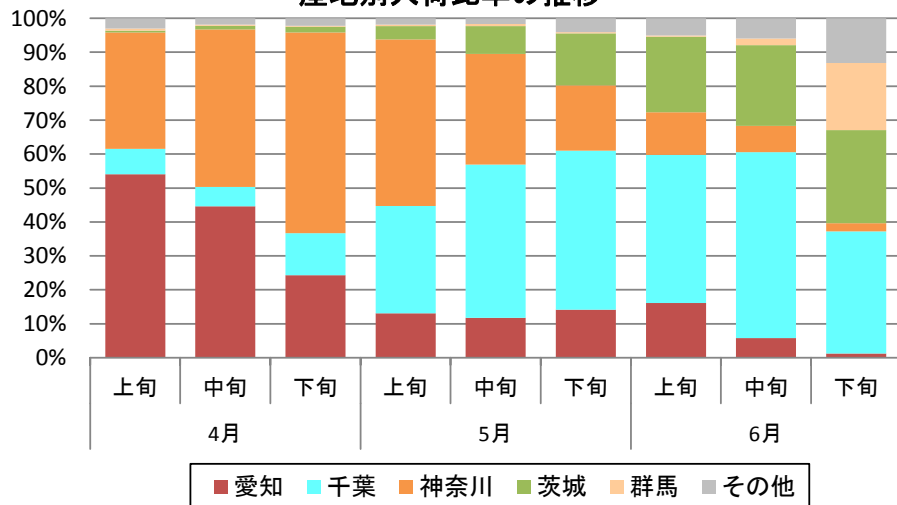
入荷量の推移



卸売価格の推移



産地別入荷比率の推移



2. 平成25年産春だいこんの需給・価格の実績

	前回の委員会(25.3.19)での見通し	実績(6月下旬時点)	備考
春だいこん (4～6月)	<ul style="list-style-type: none"> ・作付面積は、千葉、長崎ともに前年並みの見込み。 ・生育状況は、低温等の影響から遅れていたものの、気温の上昇とともに回復傾向。 ・出荷量は、4月及び5月は前年並み、6月は青森のは種作業が遅れれば、前年を下回る見込み。 ・4月及び5月は概ね順調な出荷が見込まれることから、価格は、4月は前年が高値だったことから前年を下回り、5月は前年並みの見込み。 ・6月は青森の出荷が少なければ、価格は、前年を上回る見込み。 ・加工・業務用においては、国産が潤沢にあれば、国産主体で対応する見込み。 	<p>(入荷量)</p> <p>4月は、上旬の低気圧による暴風雨の影響もなく、千葉産の生育及び入荷が順調となったため、前年に比べ大幅な入荷増となった。5月は、千葉産の入荷は順調であったものの、青森産の生育が遅れたため、前年に比べかなりの入荷減となった。6月は、生育が遅れていた青森産が回復したものの、千葉産の入荷が減少し、前年に比べかなりの入荷減となった。</p> <p>期間全体としては、前年並みとなり、平年をわずかに上回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:100)</p> <p>(価格)</p> <p>4月は、入荷が多く、かつ、前年が高値であったため、前年を大幅に下回った。5月は、入荷が減少したものの、引き続き前年を大幅に下回った。6月は、入荷が減少したため、前年をわずかに上回った。</p> <p>期間全体としては、前年及び平年ともに大幅に下回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:70)</p>	

注)「実績」については、「東京都および大阪市中心卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

(参考1) 平成25年産春だいこんの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比(前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

入荷量対比

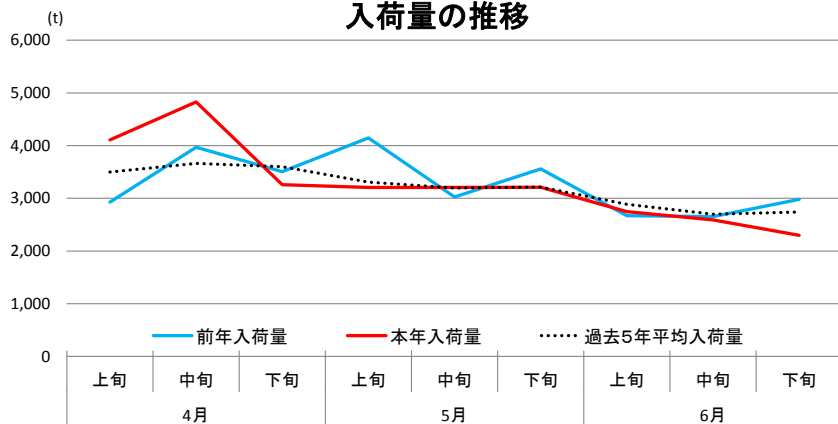
	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	140	122	93	77	106	90	103	98	77	100
	117			90			92			
過去5年平均比	117	132	91	97	100	100	95	96	84	102
	113			99			92			

卸売価格対比

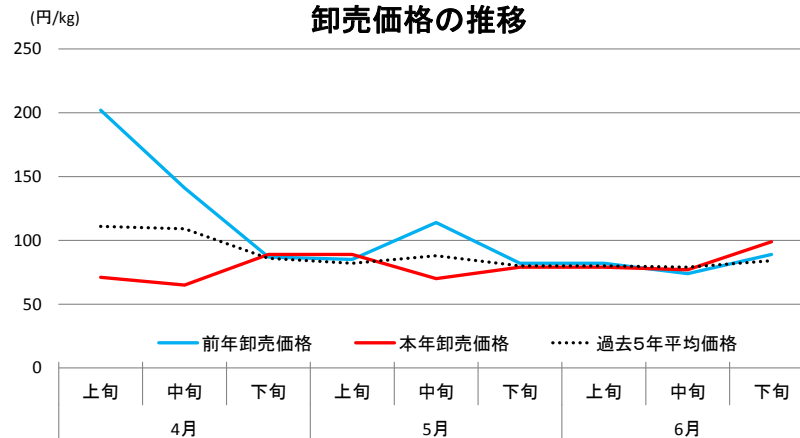
	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	35	46	102	105	61	96	96	104	111	70
	53			74			102			
過去5年平均比	64	60	103	109	80	99	99	97	118	84
	73			85			104			

(参考2) 平成25年産春だいこんの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移(東京都中央卸売市場)

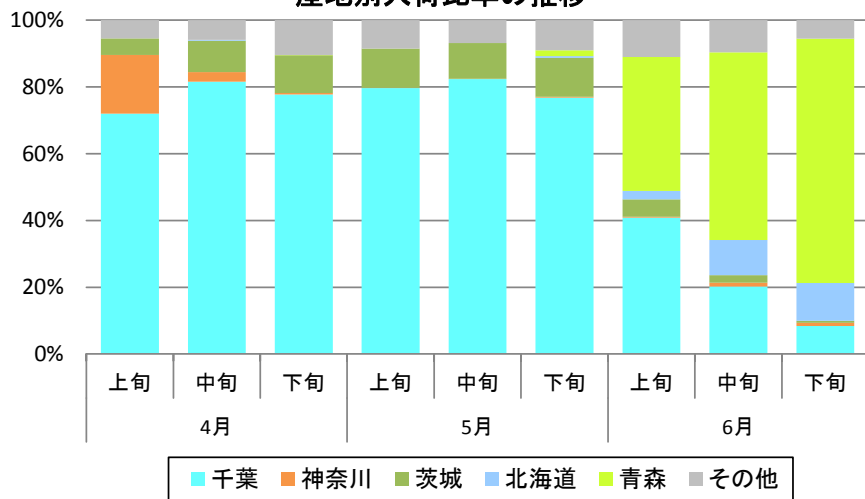
入荷量の推移



卸売価格の推移



産地別入荷比率の推移



3. 平成25年産たまねぎの需給・価格の実績

	前回の委員会(25.3.19)での見通し	実績(6月下旬時点)	備考
たまねぎ (4～6月)	<ul style="list-style-type: none"> ・作付面積は、北海道、佐賀、兵庫ともに前年並みの見込み。 ・生育状況は、一部産地で降雨や低温の影響があったものの、回復。 ・出荷量は、4月は前年を上回り、5月は前年並み、6月は前年を上回る見込み。 ・北海道の貯蔵ものが多く残っており、府県産の出荷も概ね順調と見込まれることから、価格は、前年を下回る見込み。 ・加工・業務用においては、中国産の不作や円安の影響により輸入価格が上昇しており、国産にシフトする傾向もあるが、今後、中国産の価格が下落すれば、ふたたび中国産にシフトする可能性がある。 	<p>(入荷量)</p> <p>4月及び5月は、北海道産の在庫が潤沢となっているところに佐賀産の生育が順調で、少なかった前年を上回る入荷となったため、4月は前年に比べ大幅な入荷増となり、5月はかなりな入荷増となった。6月は、佐賀産に兵庫産及び香川産が加わり、順調な入荷となったため、前年に比べ大幅な入荷増となった。</p> <p>期間全体としては、前年及び平年ともに大幅に上回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比: 127)</p> <p>(価格)</p> <p>4月から6月まで、順調な入荷となったため、期間全体としては、前年及び平年ともに大幅に下回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比: 65)</p>	

注)「実績」については、「東京都および大阪府中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

(参考1) 平成25年産たまねぎの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比(前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

入荷量対比

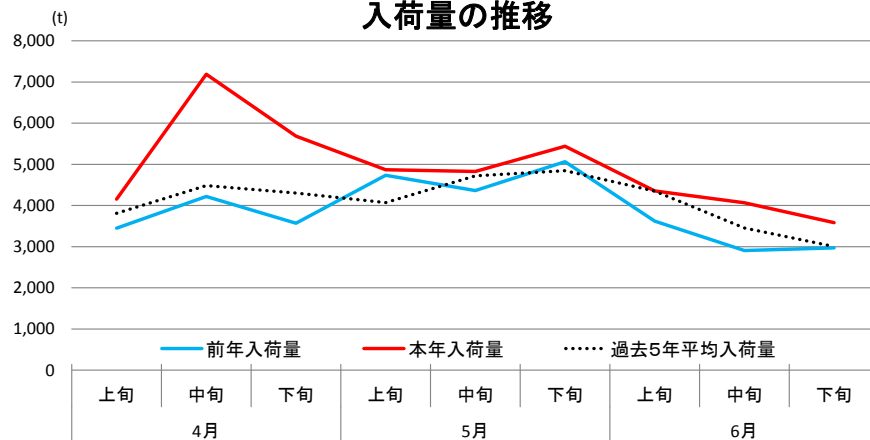
	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	120	170	159	103	111	107	120	140	121	127
	151			107			126			
過去5年平均比	109	160	132	120	102	112	100	118	119	119
	135			111			111			

卸売価格対比

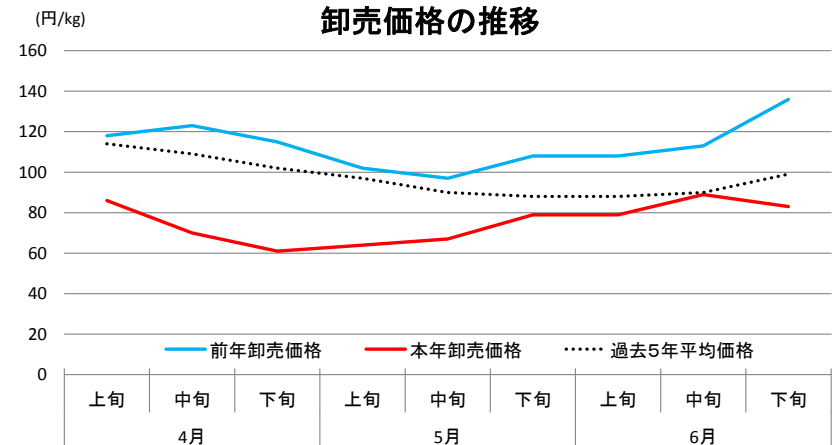
	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	73	57	53	63	69	73	73	79	61	65
	60			65			70			
過去5年平均比	75	64	60	66	74	90	90	99	84	74
	65			71			90			

(参考2) 平成25年産たまねぎの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移(東京都中央卸売市場)

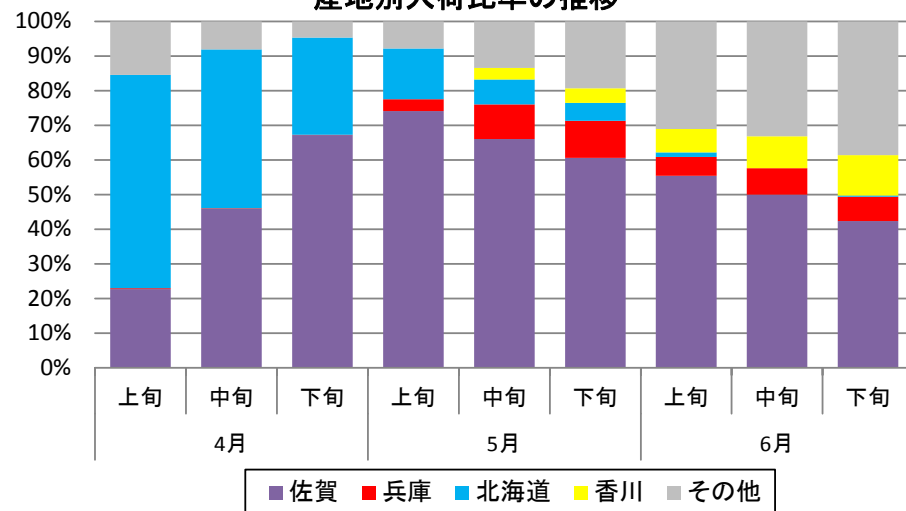
入荷量の推移



卸売価格の推移



産地別入荷比率の推移



4. 平成25年産春夏にんじんの需給・価格の実績

	前回の委員会(25.3.19)での見通し	実績(6月下旬時点)	備考
春夏にんじん (4～7月)	<ul style="list-style-type: none"> ・作付面積は、徳島、千葉ともに前年並みの見込み。 ・生育状況は、冬期の低温により一部産地で生育が遅れているが、作柄は良好。 ・出荷量は、4月は前年を上回り、5月は前年を下回り、6月は前年を上回り、7月は前年を下回る見込み。 ・4月は出荷が増加すると見込まれることから、価格は前年を下回り、5月は出荷が減少すると見込まれることから、価格は前年を上回り、6月及び7月の価格は前年並みの見込み。 ・加工・業務用においては、国産より安価な輸入もので対応する傾向が強い。 	<p>(入荷量)</p> <p>4月は、徳島産の生育が順調となり、低温の影響により少なかった前年を上回る入荷となり、前年に比べ大幅な入荷増となった。5月は、徳島産から千葉産へ産地が切り替わる時期となり、徳島産の切り上がり及早まり、前年に比べかなりの入荷減となった。6月は、千葉産及び埼玉産の生育が順調となり、前年に比べわずかに入荷増となった。</p> <p>期間全体としては、前年をかなり上回り、平年をやや上回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:106)</p> <p>(価格)</p> <p>4月は、入荷が増加したことから、前年をかなり下回った。5月は、入荷が減少したものの、前年をわずかに下回った。6月は、順調な入荷となり、前年をかなり下回った。</p> <p>期間全体としては、前年をやや下回り、平年をかなり下回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:96)</p>	

注)「実績」については、「東京都および大阪市中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

(参考1) 平成25年産春夏にんじんの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

入荷量対比

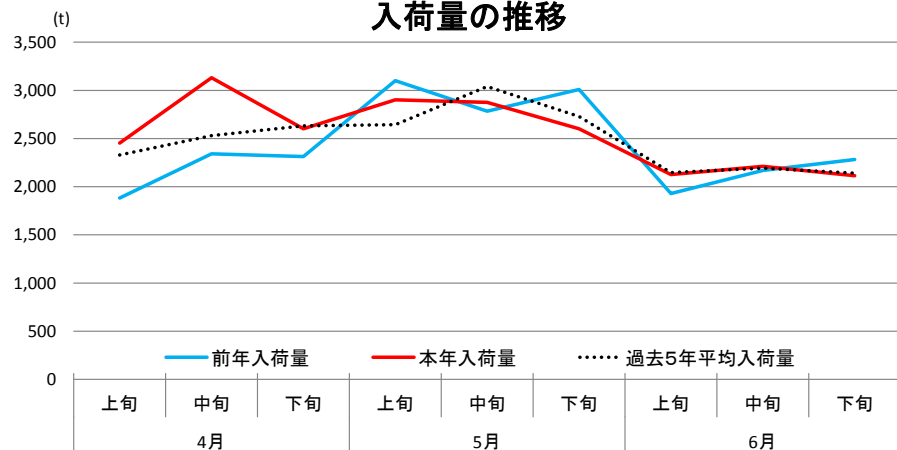
	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	130	134	112	94	103	86	110	102	93	106
	125			94			101			
過去5年平均比	105	124	99	110	95	95	99	101	99	103
	109			100			100			

卸売価格対比

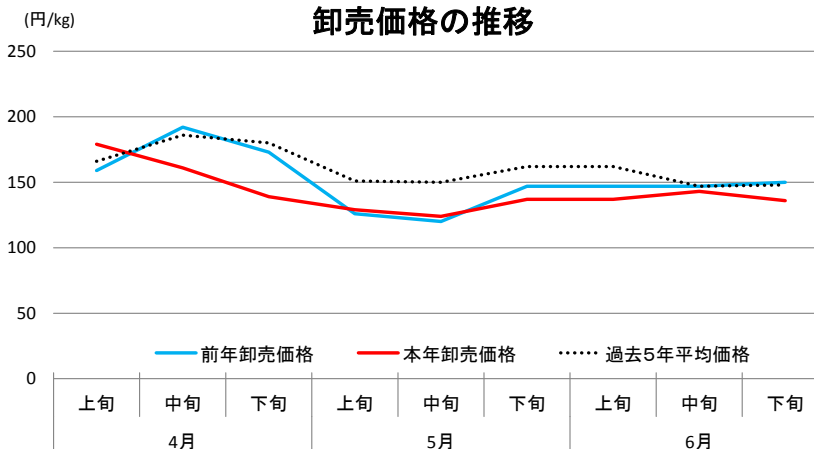
	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	113	84	80	102	103	93	93	97	91	96
	90			99			94			
過去5年平均比	108	87	77	85	83	85	85	97	92	89
	90			86			91			

(参考2) 平成25年産夏にんじんの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)

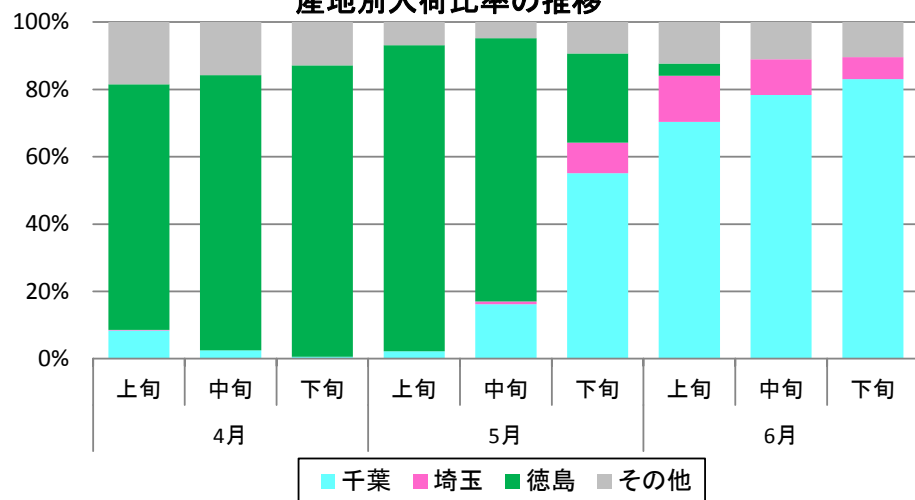
入荷量の推移



卸売価格の推移



産地別入荷比率の推移



5. 平成25年産春はくさいの需給・価格の実績

	前回の委員会(25.3.19)での見通し	実績(6月下旬時点)	備考
<p>春はくさい (4～6月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作付面積は、茨城は前年並み、長野は前年を上回る見込み。 ・ 生育状況は、一部産地で低温による生育遅れが見られる。 ・ 出荷量は、4月及び5月は前年並み、6月は前年を上回る見込み。 ・ 消費が減少する時期となる中で順調な出荷が見込まれることから、価格は、期間を通して前年を下回る見込み。 ・ 加工・業務用においては、外食の鍋需要が終了し、漬物用の原料も潤沢に確保されていることから、引きは弱い。 	<p>(入荷量)</p> <p>4月は、茨城産及び兵庫産の生育が順調であったため、前年に比べかなりの入荷増となった。5月は、茨城産の生育の前進化や4月の低温の影響により、前年に比べかなりの入荷減となった。6月は、長野産が少雨の影響により、かなりの入荷減となった。</p> <p>期間全体としては、前年並みとなり、平年をやや上回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比: 100)</p> <p>(価格)</p> <p>4月は、入荷がかなり増加したため、前年に比べ大幅に下回った。5月は、入荷が減少したものの、気温の上昇による消費の減少や漬物需要の低迷もあり、前年に比べ大幅に下回った。6月は、入荷が減少したことから、前年をかなり上回った。</p> <p>期間全体としては、前年及び平年ともに大幅に下回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比: 72)</p>	

注)「実績」については、「東京都および大阪市中心卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

(参考1) 平成25年産春はくさいの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

入荷量対比

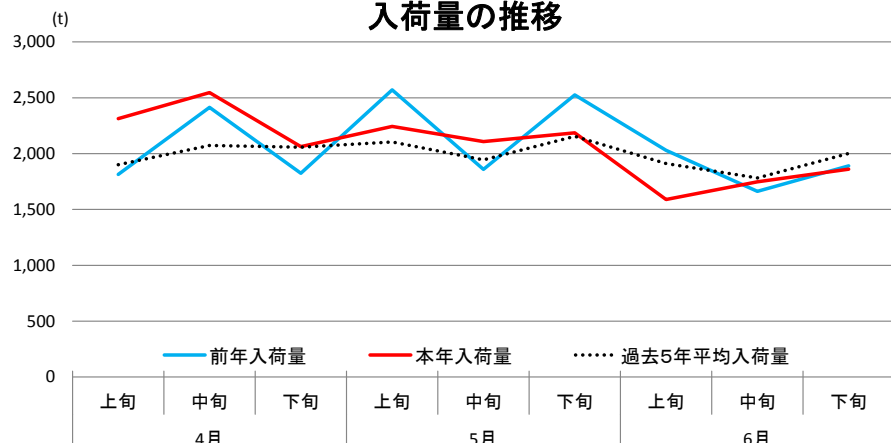
	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	128	105	113	87	113	87	78	105	98	100
	114			94			93			
過去5年平均比	122	123	100	107	108	101	83	98	93	104
	115			105			91			

卸売価格対比

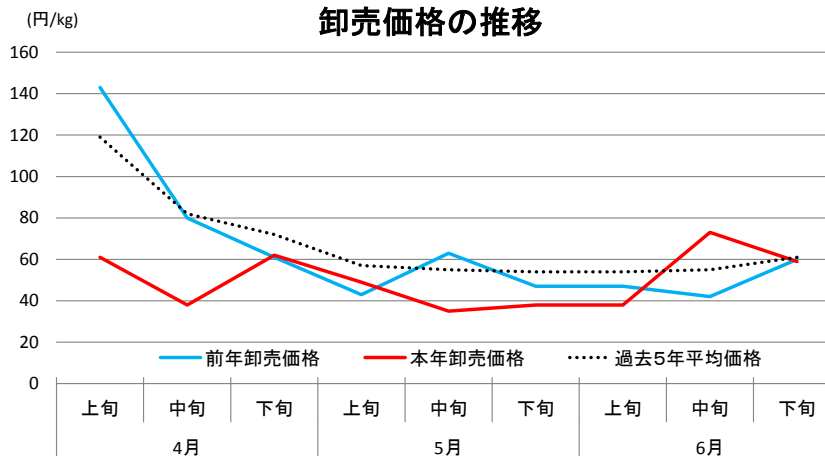
	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	43	48	102	114	56	81	81	174	98	72
	57			63			114			
過去5年平均比	51	46	86	86	64	70	70	133	97	72
	59			66			100			

(参考2) 平成25年産春はくさいの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)

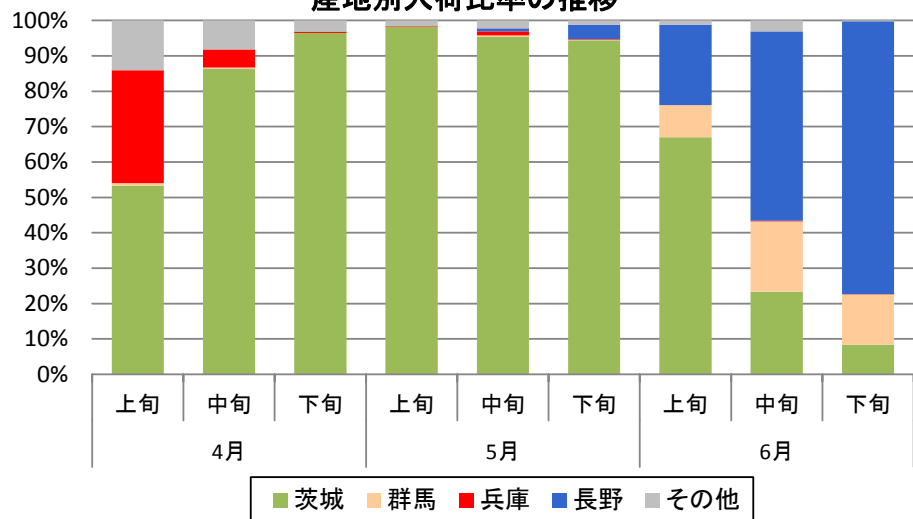
入荷量の推移



卸売価格の推移



産地別入荷比率の推移



6. 平成25年産春レタスの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会(25.3.19)での見通し	実績(6月下旬時点)	備考
春レタス (4～5月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作付面積は、茨城は前年をやや上回り、長野は前年をかなり上回る見込み。兵庫は前年をやや下回る見込み。 ・ 生育状況は、一部産地で定植の遅れや低温の影響から、生育の遅れが見られる。 ・ 出荷量は、期間を通して前年を上回る見込み。 ・ 期間を通して順調な出荷が見込まれることから、価格は、前年を下回る見込み。 ・ 加工・業務用においては、国産で対応しやすい時期となる。 	<p>(入荷量)</p> <p>4月は、茨城産及び兵庫産の生育が順調となり、前年に比べわずかに入荷減となった。5月は、茨城産及び長野産の生育が順調となり、前年に比べわずかに入荷増となった。6月は、長野産及び群馬産となり、長野産は、少雨の影響で小玉傾向となったものの、前年と比べかなり入荷増となった。</p> <p>期間全体としては、前年をやや上回り、平年をかなり上回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比: 103)</p> <p>(価格)</p> <p>4月は、順調な入荷となったため、前年をわずかに下回った。5月は、前年が茨城産の降雨や雹害により、中旬以降、入荷が減少したことから高値であったため、前年を大幅に下回った。6月は、入荷が増加したため、前年を大幅に下回った。</p> <p>期間全体としては、前年をかなり下回り、平年をやや下回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比: 87)</p>	

注)「実績」については、「東京都および大阪府中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

(参考1) 平成25年産春レタスの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

入荷量対比

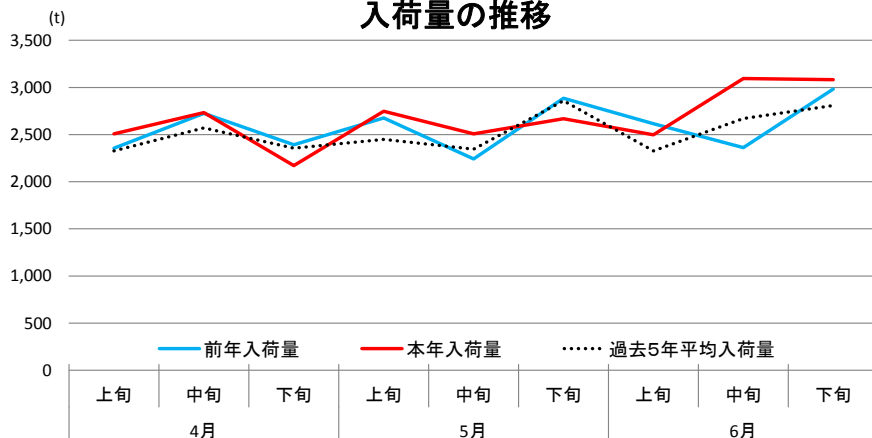
	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	106	100	91	103	112	93	95	131	103	103
	99			102			109			
過去5年平均比	108	106	92	112	107	93	107	116	110	106
	102			104			111			

卸売価格対比

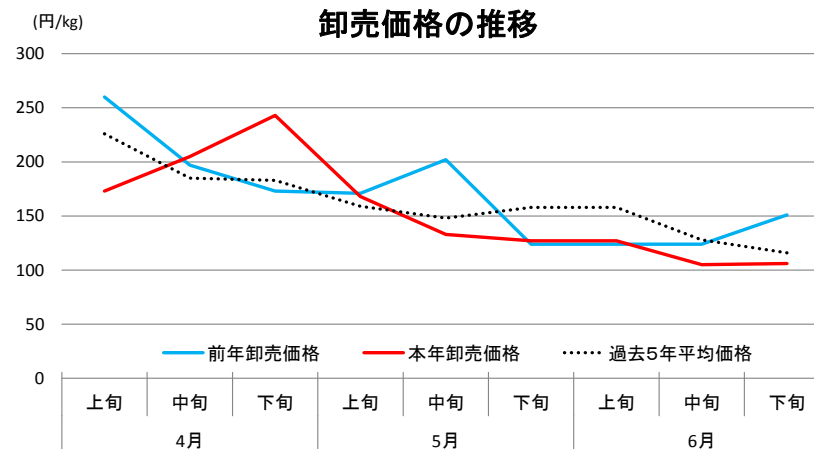
	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	67	104	140	98	66	102	102	85	70	87
	98			78			84			
過去5年平均比	77	111	133	106	90	80	80	82	91	96
	104			98			85			

(参考2) 平成25年産春レタスの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)

入荷量の推移



卸売価格の推移



産地別入荷比率の推移

